令和5年度 兵庫県立西脇高等学校 学校評価報告書

グラデュエーション・ポリシー	(1)ふるさとの自然や文化に愛着と誇りを持ち、将来地域社会に積極的に参画する人間を育成する。 (2)基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着により主体的に「考える」ことができる生徒を育成する。 (3)多様な人々とつながる力を有し、自ら「問い」を立て協働して探究することができる生徒を育成する。 (4)伸び伸びとした高校生活を送ることで、想像力と創造力の伸長を図り、夢の実現に向けて行動できる生徒を育成する。 (5)人間らしい柔軟な判断力を持ち、自由な発想で新しいことに挑戦する意欲のある生徒を育成する。
アドミッション・ポリシー	(1)将来に夢を持ち、夢の実現に向けて努力し続ける生徒を募集する。 (2)周囲と良好な人間関係を築き、伸び伸びと充実した高校生活を送りたい生徒を募集する。 (3)課題を自ら発見し、多様な人々と協働して解決策を考えるなど、探究できる生徒を募集する。

領域等	評価の観点		評価項目	実践目標	4件法による評価平均 生徒	保護者	職員	学校関係者評価委員の意見
学校運営	【A】開かれた学校づくり	1	家庭や地域への情報発信	本校は、ウェブアクセシビリティ(見やすさ、利用しやすさ)を目指した学校Webページの制作に取り組んでいますか。	2.9	2.9	2.7	・1 ウェブアクセシビリティの取組について、教職員の「あまり思わない」「思わない」という否定的回答が37%に達している。教職員それぞれの認識の調整が求められるのではないか。 ・2 ホームページについて、生徒・保護者の約80%が肯定的に捉えていることは評価できる。引き続き、広報の対象とそれぞれのニーズに応じた内容についての発信をお願いしたい。 ・3「日々の生徒の様子」の周知について、生徒の約80%が肯定的に捉えており、概ね良好な状態と評価できるが、保護者の約34%が否定的に回答しており、そのニーズの検証も求められよう。 ・4 オープンハイスクールの評価について、参加した中学生・保護者等のアンケートへの回答の状況を掲載して比較すると、実態が分かりやすいと思われる。 ・少子化等の影響もあるのでしょうが、子供の行事への参加や情報を知りたい家庭が増えているように思います。開かれた学校作りへの継続的な活動をよろしくお願いします。 ・HPは見て欲しい人別に分けて表示した方がよいと思う。在校生かそれ以外か、更新スピードはもう少し早い方が良いと思います。 ・評価項目3の回答が3割の職員が「あまり思わない」となっており、受け手側の保護者の3割も「あまり思わない」という結果。残念です。 ・HPを拝見しましたが、もう少し情報があってもよいのではと思いました。クラブの紹介も情報が少なく、何も記載のない部もありました。インスタもあるようですが、寂しい感じを受けました。
		2		本校は、ホームページを通して最新の必要な情報等を発信していますか。	3.0	2.9	2.9	
		3		本校は、学校行事や部活動や日々の生徒の様子をこまめに伝えていますか。	3.0	2.8	2.9	
		4	中学生及び保護者への広報活動	本校は、オープン・ハイスクール等を通して、中学校に本校の魅力を発信できていますか。			3.3	
	【B】危機管理	5	家庭・地域・関係機関と連携した危機管理体制の推進	生徒(あなた)は登下校等において交通ルールを守り、安全に配慮していますか。	3.6	3.0		・5 交通ルールやマナーの遵守について、一般的に生徒は「自分は守っている」と答える傾向がある。自転車の規制等も厳しくなっている。引き続き啓発に努めていただきたい。 ・7 クラッシー等による緊急時の体制整備について、生徒、保護者、教職員ともに肯定的回答が90%を上まわっており、その効果について、高く評価できよう。 ・数字にも出ているように危機管理体制はよく整っているかと思います。生徒の交通ルールも朝の通勤時間など特に問題がないように思います。 ・生徒たちに登下校の問題点を出してもらい、皆で改善点を話し合う(少ない時間の中で難しいとは思いますが)。 ・緊急時の連絡等、生徒、保護者、職員とも同様の評価で、体制が整っているのだと思いました。
		6		本校は、外部情報(苦情等)の積極的な収集と、統制のとれた教職員の対応をするとともに、生徒に対して全校集会やHRを通じて迅速な注意喚起を行なっていますか。			3.1	
		7		本校は、クラッシーやラインネットを使って教員・保護者とも緊急時の連絡を伝えるとともに、緊急時の体制を整えていますか。	3.6	3.4	3.4	
	【C】生徒指導	8	生徒の内面理解	自分は、各学級及び部活動の生徒、あるいは気がかりな生徒に対して面談等を行うなど、日頃から内面の理解に努めていますか。	3.0	2.9	3.1	・[全体] 生徒は、全体的に真面目に学習や部活動に取り組んでおり、安定した学校生活を送っていることは高く評価できる。 ・11 教職員の生徒や学級の理解について、各学年とも肯定的回答が80%を上まっわており、高く評価できる。引き続き、尽力いただきたい。 ・12「いじめ」に関する学校の取組について、否定的回答の比率が、各学年とも25%を上回っている。引き続き、早期発見に努め、それぞれの状況に応じた対応を図っていただきたい。 ・13 本校では、生徒指導上の案件は少ないとはいえ、指導に際しては、生徒は常に指導における公平性や平等性を求めている。教職員の肯定的回答が50%という数値については検証が求められよう。 ・生徒指導に関しては高い数字が出ているのですが12番のみ低い数字になっています。「組織的に」ということになると先生ごとに対応が違うわけで、そこが引っかかって数字を下げたのかもしれません。 ・デリケートな問題ですが、現状、問題発覚時に学校側に迅速に動いていただいたことは生徒にも保護者にも安心できることでした。 ・生徒の向上心を強く持てるようサポートをお願いしたい。 ・いじめ問題は「生徒と保護者」と「職員」で「あまり思わない」のポイントが違いすぎる。検証していただきたい。 ・項目8、11、12について、評価結果を見ると生徒と保護者、職員との評価にずれが生じています。先生側が、もし「できている」と思い込むと、見えてくるものも見えなくなったり、見なくなったりするのでは…と感じました。
		9	生徒の自主・自立の精神の育成	本校は、学校行事の企画及び運営に際して、生徒会、各学級、部活動等の自主的な活動を支援していますか。	3.3	3.1	3.1	
		10	挨拶や清掃の徹底	自分は、日々の挨拶や清掃の徹底を図れていますか。	3.5	3.0	3.3	
		11	いじめの未然防止、早期発見、早期対応	自分は、日頃から生徒の言動に注意をはらい、生徒や学級の様子を知ることに努めていますか。	3.2	2.9	3.1	
		12		本校は、教育相談やアンケートの実施(学期に1回)により、いじめの早期発見に努め、必要に応じて学校全体で組織的に取り組んでいますか。	2.9	2.8	3.3	
		13	生徒指導における指導体制の推進	本校は、職員全体で共通理解のもと生徒指導を行っていますか。			2.5	
		14	実践的指導力の向上に向けた研修の充実	本校は、多様な生徒に対応するために、職員研修会を計画的に実施し、適宜必要な情報の共有に努めていますか。			2.7	
	【D】進路指導	15	進路実現に向けた情報収集と、生徒・保護者への提供	本校は、生徒の進路実現に向けて目的意識を持たせるため、文理選択や学部・学科研究のガイダンス、進路講演会を実施していますか。	3.2	3.0	3.2	・[全体] ガイダンスや進路講演会の実施、情報提供の充実、進路意識の高揚への取組など、肯定的回答が、各学年とも80%を上回っていることは高く評価できる。引き続き、生徒個々の意思や考えを尊重しつつ丁寧な指導をお願いしたい。 ・進路指導は生徒と職員の数字が近く、信頼関係が築けているのがうかがえます。2年生から受験がダイナミックに変化するので大変かとは思いますがよろしくお願いします。 ・情報が多く入試の形態等が多様化しているので、自分の必要とする情報がいち早く調べられるように、心を育てる教育をお願いしたい。 ・進路についての「思う」という回答が16で2年生が半数以上、17でも4割以上と2年生が高いのは指導上の成果なのでしょうか？ ・引き続き、適切な進路指導をお願いします。
		16		本校は、保護者にとって分かり易い情報の提供を心がけ、学年保護者会等で入試結果、受験の情報提供を充実させていますか。	3.3	3.1	3.1	
		17		本校は、大学等の入試問題を分析し、傾向や対策を生徒に提示することで、進路意識を高めさせ、進路目標達成に繋げていますか。	3.2	2.9	3.2	
		18		自分は、進路指導関係の研究会等に積極的に参加し、各学年との連携を密にして、進路情報の積極的な提供に努めていますか。			2.7	
		19	勤労観・職業観の育成や進路意識の高揚と、進路実現に向けた具体的取り組み	本校は、看護・医療体験、インターンシップなどに関する情報提供を行い、生徒に積極的に参加させ、より一層の進路意識高揚と、勤労観を育成していますか。	2.7	2.7	3.0	
	【E】部活動	20	バランスのとれた活動	自分は、部活動における規定を守りながら、勉強と部活動のバランスがとれた指導を心がけていますか。	3.0	2.9	3.1	・20 生徒の多くが学習と部活動の両立を目指して頑張っており、教職員の多くがバランスの取れた指導に努めているが、各学年とも20%程度の生徒が否定的な回答をしている。このことに留意しつつ指導の充実を図っていただきたい。 ・生徒と職員の数値がほぼ同じで、文武ともにバランスがとれている様子がうかがえます。 ・チームワーク、指導する先生とのコミュニケーションがとれるようにお願いしたい。 ・生徒、保護者、職員、みなさんがんばっておられると思います。
	【F】学校事務	21	好感を持たれる接遇	自分は、電話等において迅速な対応と気持ちのよい対応を実践していますか。	3.3	3.2	3.2	・21 接遇については、生徒、保護者、教職員がそれぞれに肯定的回答が90%前後であり、高く評価できる。 ・22 施設の適切な管理について、生徒、保護者の肯定的回答が80%を上回っているのに対して、教職員の肯定的回答が60%を下回っている。このギャップについての検証をお願いしたい。 ・電話対応は丁寧かつ迅速で特に気になる点はありませんでした。危険箇所の把握と修繕は予算の関係もあるので、生徒への周知さえあれば危険性の高いものに対処お願いします。 ・危険箇所について職員の回答が大変低いのが気になります。具体策を講じていただきたいです。 ・学習環境が整っていると生徒や保護者が評価しておられるのは、職員の成果であると思います。
		22	建物・設備等の適切な管理と校内の美化	本校は、校舎施設の危険箇所等の迅速な把握と修繕に努めていますか。	3.1	3.1	2.5	
教育課程	【G】教育課程	23	教育課程の編成と類型選択指導	本校は、新学習指導要領や大学入試システムの変更等に対応したカリキュラムの編成ができていますか。	3.2	3.0	2.9	・[全体] カリキュラムの編成、適正な講座編成、指導方法の改善などの項目について、生徒の肯定的回答は80%を超えており、高く評価できる。引き続き充実をお願いしたい。 ・23.24 の職員数値が低めに出ているのはやはり新学習指導要領の導入のせいでしょうか。対応はたいへんでしょうが生徒、保護者ともに数値が高めです。信頼を糧に頑張ってください。 ・受験方法や方式が様々であるため、わかりやすい授業、興味をもって聞きやすい時間が、少しでも増えればと思います。1つの事だけでなく色々な事と関連していければ、興味を持つきっかけになると思います。 ・前回の学校評議員会で県とのかかわりについて「県は何もしてくれない」という言葉が出たと思います。しかし県立高校である以上、できるだけ県に働きかけ、また地域出身者や卒業生などの人的ネットワークを使って生徒の環境を整える努力をしていただきたいです。 ・項目27 学年が上がるほど、理解しているが多くなっているので、良いと思います。 ・項目30 探究活動は、今後社会に出た際に役立つ経験だと思います。先生方も大変だと思いますが、生徒への後押しをがんばっていただければと思います。
		24		本校は、生徒に対して科目の指導内容を明確化し、適正な講座編成に努めていますか。	3.2	3.0	2.9	
		25	学習指導力の向上と開かれた教育課程	本校は、教科指導力向上のため、研究授業・研究協議及び外部へ向けた授業公開を実施する授業公開週間を設けていますか。	3.2	3.0	3.2	
		26		自分は、年2回実施の生徒による授業アンケート後に、その結果を受けて授業改善に努めていますか。			3.1	
		27		生徒(あなた)は、日々の授業を理解していると思いますか。	3.0	2.8		
		28	学力向上に向けた取組	自分は、生徒個々の実態を把握するため面談を行い、補充等を実施して学力向上に努めていますか。	2.9	2.8	2.9	
		29		自分は、習熟度別授業や少人数授業等での指導状況や、小テスト・考査等の結果から、指導方法の点検・改善を行っていますか。	3.3	3.2	3.0	
		30		本校は、探究活動をとおして、教科横断的な取組を行うことで、生徒が自ら考え、問題を解決する力を養っていますか。	3.0	2.9	2.8	
	【H】人権文化	31	人間尊重の精神を涵養し、他者を思いやり、共に生きる心の育成を図る。	本校は、生徒の実態を把握しながら各学年毎の目標を設定し、年間4～5回の人権HRを実施していますか。	3.1	2.9	3.0	・とりわけ三年生の肯定的評価が高い。これが例年の傾向かどうかとともに、内容や方法について検証するにより、その成果の全学年への波及が期待できる。 ・社会の変化とともに人権の捉え方にも多様性が生まれているようです。柔軟な距離感でとらえてくれたらと思います。 ・難しい分野ですが、とても大切な項目です。自他ともに大切にする心の育成をお願いします。
	【I】保健管理・健康教育	32	心身の健康課題に適切に対応し、生涯を通じて主体的に健康で安全な生活を送るための基礎を培う	本校は、定期健康診断の結果の活用及び定期的な「保健便り」を発行することにより、生徒自身の健康への関心を高め、自己管理を促していますか。	3.1	2.8	3.2	・32 新型コロナウィルス感染症は5類になったとはいえ、まだまだ感染は終息していない。感染症対策を踏まえた健康管理など、引き続き注意喚起を促していただきたい。 ・33 カウンセラーの存在は、健康相談はもとより親や友人との関係など成長期特有の悩みや課題についての相談においても重要である。生徒の肯定的回答は80前後であり、その取組は評価できる。 ・生徒と職員の数値が高いのはいい信頼関係が築けているのかと思います。保護者の数値が低く出ていますが内容的にはそれほど気にしなくてもいいように思います。 ・項目32 生徒、保護者と職員との評価結果に違いが生じています。生徒たちは「健康」について、「他人事」「健康が当たり前」のように思っているのでしょうか。「大麻」などが簡単に入手できてしまう社会なので、薬物等の本当の危険性をぜひ伝えていっていただきたいと思います。 保健便りは、紙媒体でしょうか。配布だけなのか、先生からの助言ありでの配布なのかで、伝わり方も違うかも知れないですね。
		33		本校は、健康相談の充実を図るために、キャンパスカウンセラー、当該学年・担任・保護者、必要に応じて専門機関との連携を密にし、支援を行っていますか。	3.1	2.9	3.2	
	【J】環境美化	34	環境美化意識の向上と適切な学習環境の確立	自分は、日頃からゴミの量を減らしたり、分別の徹底を指導したりして、生徒の環境意識の醸成を図っていますか。	3.1	2.8	3.2	・34 清掃活動等について、保護者の評価はやや厳しいものの、生徒・教職員共に肯定的回答は80%前後と高く、良好な状況と言える。高校生にとって、清掃等の活動は学校や家庭周辺の地域環境の整備や維持等の身近な地域貢献の意識につながる。今後も、充実を図っていただきたい。 ・生徒と職員の数値が高いのはいい信頼関係が築けているのかと思います。保護者の数値が低く出ていますが内容的にはそれほど気にしなくてもいいように思います。 ・引き続き、環境美化意識の醸成をお願いします。
	【K】防災・安全教育	35	防災意識の高揚と実践的な安全教育	本校は、実践的な防災教育を実施して、防災意識及び危機対応能力の向上を図っていますか。	3.2	2.8	3.4	・35 防災教育の成果について、生徒の肯定的回答は各学年とも80%を上まっわていることは高く評価できる。高校生は身近な防災活動の担い手として貴重な人材でもある。さらに実践的な取組の推進に期待したい。 ・36 AEDについては地域住民の身近なところに配置され、高校生がAEDの使用を迫られる機会もあり得る。引き続き推進していただきたい。 ・災害列島と呼ばれる中、数値が高いのはうれしい結果ですね。形骸化しないよう、引き続き実践的な防災教育をよろしくお願いします。 ・実際に起こった事を写真等通して、体験話を聞き、シミュレーションを重ねて欲しい。 ・ありがたいことに、災害が少ない地域であるため、防災意識が他人事になりがちですが、自分事と捉えられるよう、意識向上に向けた指導をお願いします。
		36		本校は、夏季休業前に救命救急法(AED)等の講習を、職員・生徒を対象に実施する等、緊急対応の普及に努めていますか。			3.3	
	【L】図書館活動	37	図書室の利用促進	本校は、図書室の利用を促したり読書意欲を高めるために、定期的に通信を発行していますか。	2.5	2.3	3.3	・37 生徒と教職員のギャップが大きく、図書館の活用や読書活動への教職員の働きかけに対して、生徒の半数が否定的な回答を選んでいるが、授業内での読書に関連した取組は人生を通して読書に親しむきっかけにもなる。引き続き、先生方の働きかけをお願いしたい。 ・ミライエなどを地域に図書館、自習室などが設置されていますので学校の図書室以外も含めれば利用率も高いのかと思います。 ・図書室の利用につながる通信作りをお願いしたい。 ・本離れが進んでいるのでしょうか。紙の本ならではの楽しさ、例えば、紙のにおい、手触り、フォントの種類、行間を読むなど、違った角度から本を伝えていくのはどうでしょうか。五感を使った読み方を。
	【M】情報活用	38	校内ネットワークの適切な運用と管理	自分は、教員PC、NASをはじめ、各種ICT機器や個人情報等を適切に管理していますか。			3.1	・[全体] 授業におけるICT機器の活用についての生徒の肯定的回答は概ね80%であり、BYODを意識した活用やルールづくりについての肯定的回答の比率は100%に近いが、教職員の肯定的回答の比率は決して高くはない。そのギャップについての検証が求められよう。 ・40 生徒の数値を見ると、情報機器の危険性の講習などを受けてきたこと、そもそも早くから慣れ親しんできた結果なのでしょう。保護者としてはまだまだ心配ですがすでに情報機器は子供に教えられることの方が多くなってしまいました。 ・項目40 生徒の評価が厳いですが、ネットでの事件も多く発生しているので、本当に危険性をわかっているのか、少し心配します。思い込みが大きいのではないかと考えます。
		39		自分は、ICT機器をについて研鑽を重ね、授業において積極的に活用していますか。	3.0	2.8	2.8	
		40		本校は、BYODを意識して、授業における活用やルール作り等の取組がなされていますか。	3.5	3.0	2.6	
	【N】学校への満足度	41	西脇高校への評価	本校に入学させて(して)よかった。	3.4	3.4		・[全体] 学校生活の満足度は、生徒、保護者共に肯定的回答が90%を超えている。それぞれの評価項目について課題に感じることがあっても、全体としての満足度はたいへん高く、学校の雰囲気も含めて教育活動の成果でもあり、高く評価できる。 ・9割の生徒、保護者が満足しているのですね。これからも魅力ある学校を目指して頑張ってください。 ・8割以上が、学校生活に満足している結果には良かったと思う。
		42		本校での学校生活に満足している。	3.4	3.4		
	【O】特色化・多様化の推進	43	【普通科】	「総合的な探究の時間」を活用して、生徒が、身近な所にある課題や地域の課題に目を向け、多様な人物と協働し、自発的に探究することで、課題解決に向けて深い学びを得るよう指導していますか。			2.9	・[全体] 「総合的な探究の時間」の活用について、普通科、科学教育類型ともに教職員の評価は概ね肯定的であるが、「概ね思う」の比率がそれぞれ60%、65%を占めており、引き続きより成果の高い取組への進展を期待したい。 ・生活情報科については、従来から文部科学省の指定を活用するなど、積極的に地域産業との連携やその特色を活かした活動を展開し、地域社会からの評価も高い。引き続き、充実した教育活動の展開が期待される。 ・多様性、専門性、地域振興、グローバル等々、様々な価値観が飛び交う社会の中で、生徒が自分らしさをつかんでいける一助となるように指導よろしくお願いします。 ・兵庫県は知事の「高校生に短期間でも良いので海外経験を」という考えから、そういう施策が取られると聞いています。是非、西高生にも機会が得られるよう、職員の先生方のご尽力を願います。 ・探究活動は、今後社会に出た際に役立つ経験だと思います。先生方も大変だと思いますが、生徒への後押しをがんばっていただければと思います。
		44	【科学教育類型】	「総合的な探究の時間」を活用して、自らの興味関心のある自然科学分野における課題を選択し、同じ志を持つ者と協働して探究したことを口頭や文章での発表を行うことで、深い学びが得られるよう指導していますか。			2.8	
		45	【生活情報科】	家庭に関する専門学科で学ぶことを活かして、地域の特産物を用いた商品づくりを通して、地域の多世代の方々とコミュニケーションを図ることで地域活性化に貢献できるよう指導していますか。			3.4	
	【P】業務改善	46	ワーク・ライフ・バランスの実現	自分は、仕事の合理化・効率化を図り、残業時間の縮小に努めていますか。			2.6	・学校では「働き方改革」がなかなか進展しない。そのこともあって、肯定的回答の比率も50%に達していない。引き続き、組織としての課題、教員個々の課題について検証を進め、改善を図っていただきたい。 ・アンケートをみると6:4、教育に効率化を求めるべきか職員側でも判断が分かれているのでしょうか。 ・日々お忙しいと思いますが、先生方の心身の充実が学校経営に反映されると思いますので次回は回答ポイントは上がっていることを願います。 ・授業の合理化や効率化が可能なものであればいいのですが。

※各項目下段の斜体数字は、昨年度の評価平均